

2)人材育成・生涯学習に寄与する公園づくり					
①やんばる環境学習等の実施					
<p>1 やんばる環境学習(学校・一般)</p> <p>海洋博公園を活用した普及啓発活動を行い公園の利用促進を図ることを目的に、北部地域の学校団体や一般団体と連携し、公園や地域の自然環境を活用した授業や講習会を実施する。</p> <p>R5年度は、学校団体向けとして海洋博公園の文化施設・自然環境を活用した授業を北部地域小中学校の年間授業に組み込んで実施するほか、県内小中高校等からの依頼を受け出前授業の対応を行う。また、一般団体向けとして公園管理業務や調査研究により得られた成果やノウハウを基に、公園内の自然環境・各施設を活用した講座を実施する。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ・上本部学園4年生:R5年度は「沖縄の島野菜(もとぶ香ネギ)」をテーマにおきなわの郷土村のあたいぐわーを活用した授業を実施した。学校での「もとぶ香ネギ」についての授業4回(事前学習・振り返り・まとめ)および調理実習1回を実施。郷土村での活動は5回実施した。 ・上本部学園5年生:南西諸島の成り立ちについて事前学習を1回、名護岳での生物観察会でのガイド対応1回、「研究」についての講話を1回実施した。 ・瀬底小5-6年生:R4年度に引き続き、サンゴに関する事前学習および本部町健壁の埋め立て漁礁を活用したサンゴ観察会を計5回実施し、サンゴの成長記録と写真撮影を行った。昨年度と比較すると、藻類が増えているような変化が見られた。 ・緑風学園3年生:「地域のお宝」として、学校周辺の砂浜環境やウミガメについて学びを深めるための事前学習を2回、海洋博公園で繁殖したウミガメ幼体を教材に飼育実習を4回実施した。ウミガメの種類の見分け方、財団が行う調査研究、ウミガメを取りまく環境問題、漂着物(海洋ゴミ)について2回の座学を実施し、ウミガメから地域環境を学んだ。2月26日には海洋博公園レストハウスを会場に、本部町内の小学校(瀬底小、上本部小)と3校合同でウミガメ学習発表会を実施した。 ・本部町教育委員会からの依頼で、町内学校の職員研修(6名)を実施し、海洋博公園を活用した授業取り組みについて事例報告を行った。 ・4~3月にかけて県内小中高等学校からの依頼により出前授業を計13件実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング等により確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務計画書のとおり適切に実施されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・良好に実施できている。
<p>2 外部団体からの協力依頼、各種講習会展示会等の開催</p> <p>海洋博公園の管理運営で培った亜熱帯性動植物、沖縄の海洋文化等の普及啓発を目的に、一般市民(大人・子供)・学生・専門家等を対象とした講習会の開催や講演依頼に対応する。</p> <p>R5年度は、講義テーマと公園内施設のつながりが分かるような講座を行う。受講者たちの公園への関心を高め、公園へのリピーター確保等につなげる。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ・4~3月にかけ、一般や学生、研究者を対象に、亜熱帯性動植物や海洋文化等をテーマとした講演会(オンラインを含む)を25件実施した。 			

③自主展示会の実施					
1 自主展示会の実施	○	<p>・7/25～7/30 沖縄県立博物館・美術館(おきみゅー)県民ギャラリー、県民アトリエにおいて、4テーマ14回のワークショップを伴う自主企画展「さがそう!自由研究のタネ～あなたの好奇心の花を咲かせます～」を開催し、1,973名を集客した。</p>	・ヒアリング等により確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。
④大学講座への講師派遣					
1 大学講座への講師派遣	○	<p>・琉球大学において、単位付与を伴う在学生を対象とした講座を開催した。計13名の講師を派遣して13回の講義を行い、延べ1,181名の学生が聴講した。 ・名桜大学において、一般を対象とした公開講座を開催した。計11名の講師を派遣して10回の講義を行い、延べ204名が聴講した。</p>	・ヒアリング等により確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。
⑤花・緑のボランティア養成および活動推進					
1 ボランティア活動を通じた地域緑化へ協力推進	○	<p>花・緑コーディネーターを中心に「植物園ボランティア」を募集。毎月第3土曜日にボランティアガーデンの整備等を行った。また、各回毎にテーマを設け、「植付」「株分け」「施肥」「剪定」等のスキルアップも図った。</p>	・ヒアリング等により確認した。	・業務計画書のとおり適切に実施されている。	・良好に実施できている。

⑥琉球弧の造船・航海技術等に関する調査・普及					
<p>1 琉球弧における造船・航海等に関する調査・普及</p> <p>海洋文化館の利用促進や公園内での普及啓発活動の実施を目的に、琉球弧における造船・航海等に関する調査・普及啓発活動を行う。加えて、沖縄県内の造船・操船技術者等と協働で調査普及事業を行い、海洋博公園を拠点とした愛好者ネットワークを構築する。R5年度は、R4年度までの調査成果をもとに、琉球弧における造船・航海等の情報交換及び造船技術継承に向けた各種調査・普及啓発活動を実施する。</p>	○	<p>・令和2年度建造の奥武島のサバニを引き続き海洋文化館で展示した。 ・この展示延長に先立ち、本サバニに再度燻蒸処理を施した。 ・海洋文化館の屋外に展示されていたサバニ3隻に防虫処理を施し、収蔵庫に移動して保存環境を改善した。 ・大宜味村、東村、本部町、南城市、糸満市でサバニの造船・操船技術者を訪問し、建造・活用状況を記録した。 ・これらの調査結果を地域の自治会・公民館に提供して、各地で活用していただいた。 ・糸満市教育委員会からの委嘱を受けて文化財保護審議委員に就任し、漁具一式の資料リストの監修作業を行った。 ・3月には同教育委員会によるサバニ建造技術の文化財化に関する検討会にも参加した。</p>	<p>・ヒアリング等により確認した。</p>	<p>・業務計画書のとおり適切に実施されている。</p>	<p>・良好に実施できている。</p>
3) 季節を通して魅力を感じる公園づくり					
①国際規模行事や企画展の開催					
<p>1 沖縄国際洋蘭博覧会</p> <p>海洋博公園の利用促進や満足度向上、公園内施設の利活用を図ることを目的に、沖縄国際洋蘭博覧会等の国際規模行事実施への協力を行う。加えて、実施協力により沖縄の観光振興へ貢献する。</p> <p>アジア・太平洋地域および国営公園管理業務受託者との連携の下、熱帯ドリームセンターで行われる国際規模のラン展示会開催に協力する。ウィズコロナの取組みとして、感染拡大状況をみながら、R4年度に新たに試みたオンライン審査システムの導入を検討し効果的に実施する。</p>	○	<p>11月18日～26日に沖縄国際洋蘭博覧会を開催した(実行委員会は6月に開催)。4年ぶりに海外からも審査員を招聘し、最優秀賞の内閣総理大臣賞をはじめ、5つの審査の部に大臣賞を授与した。会場装飾では主要園路沿いをコチョウランの鉢物を用い、館内要所にランの切花で写真映えするスポットを作った。やんばるの世界自然遺産登録を記念して、沖縄に自生する野生ランを紹介する特別展「沖縄に生きる野生ラン」を開催した。関連催事では幅広い年代の方々に楽しんでいただけるよう「ランの栽培教室&栽培相談コーナー」、「フラワーアレンジメント教室」、「ランプレゼントクイズ」、「君もラン博士 スタンプラリー」などを行い8,951人の来館者があった。</p>	<p>・ヒアリング等により確認した。</p>	<p>・業務計画書のとおり適切に実施されている。</p>	<p>・良好に実施できている。</p>

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	・国や県、北部地域等と連携した誘客活動や施設の魅力を伝える広報の強化を行うことで、さらなる国内外からの入場者数の確保を図る。 ・体験プログラム及びイベント等の充実を図り、取組を継続するとともに体験機会の増加を図る。また、国外からの利用者も増加していることから、体験プログラムの多言語対応に向けた検討を行う必要がある。
-----------------------------	---

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R6年度)の主な取組改善案を記入すること。

II. サービスの質の評価

アンケート実施方法	WEBアンケート	回答者数	1,971	アンケート内容		別紙参照	
評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題		
	令和4年度評価	令和5年度目標	令和5年度評価				
維持管理業務 施設・設備管理 (建物管理・清掃・植物管理)	S (98.7%)	90.0%	<p>【施設の芝生・草花や植栽の手入れについて】</p> <p><満足度>99.6%</p> <ul style="list-style-type: none"> 満足58.4% どちらかという満足16.4% どちらかという不満0.3% 不満0% 利用していない3.1% 無回答21.8% <p>【建物・設備の管理、衛生・清掃状態について】</p> <p><満足度>97.8%</p> <ul style="list-style-type: none"> 満足55.9% どちらかという満足19.0% どちらかという不満1.4% 不満0.3% 利用していない0.8% 無回答22.6% <p>〈改善要望〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 水族館周辺屋外に休憩できるベンチを増やして欲しい。 	<p>S (98.7%)</p> <p>(要望への対応) 美ら海プラザ前のキッチンカー周辺芝生地に、ベンチを10基設置した。</p> <p>(自己評価) 業務計画に基づく植物管理を適正に行ったほか、水族館周辺で設置・花の入れ替え等維持管理している海の生き物の立体造形花壇等について、園路導線上に設置することで、色鮮やかな花修景を創出し、水族館利用者の期待感を高める演出を行った。</p>	<p>・良好に実施できたことから、引き続き適切な維持管理を行い、利用者の満足度向上に努める必要がある。</p>		
施設・設備管理 (水族館の展示内容)	S (98.3%)	90.0%	<p>【生き物の展示について】</p> <p><満足度>98.4%</p> <ul style="list-style-type: none"> 満足64.5% どちらかという満足16.6% どちらかという不満1.2% 不満0.2% 利用していない0.8% 無回答16.8% <p>【水族館内のショーや解説について】</p> <p><満足度>98.2%</p> <ul style="list-style-type: none"> 満足48.9% どちらかという満足17.4% どちらかという不満1.1% 不満0.2% 利用していない13.3% 無回答19.2% <p>【オキちゃん劇場等のショーについて】</p> <p><満足度>95.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> 満足31.7% どちらかという満足9.3% どちらかという不満1.7% 不満0.4% 利用していない34.4% 無回答22.5% <p>〈改善要望〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 生き物たちの夜の行動が観察出来るよう、夏休み期間中だけでも開館時間を延長して欲しい。 	<p>S (97.2)</p> <p>(要望への対応) 7/16～7/31は20時間閉館、8/1～8/31は21時間閉館とし、生き物たちの夜の様子を観覧できる機会を設けた。</p> <p>(自己評価) ジンベエザメやナンヨウマンタ、世界唯一となるヒメイトマキエイやオニイトマキエイなどの大型希少板鰓類、新属新種となるチュラウミゴカクヒデなどの世界初展示を行ったほか、希少種の飼育下繁殖に取り組み、繁殖個体の展示を行った。</p> <p>海獣施設においても、国内唯一の展示種であるミナミバンドウイルカやシロハイルカ、ウミガメ類、アメリカマナティの飼育展示を行った。また、1オになるアメリカマナティやオキゴンドウ、0オのバンドウイルカの繁殖個体の展示を行った。</p>	<p>・良好に実施できていることから、引き続き新規展示に取り組み、満足度向上に努める必要がある。</p>		

運営業務	接客対応	S (97.8%)	90.0%	<p>【スタッフの対応について】 <満足度>97.7% ・満足49.5% ・どちらかというと満足18.6% ・どちらかというと不満1.2% ・不満0.4% ・無回答30.3%</p> <p>【改善要望】 ・海外からのお越しの観光客のマナーについて注意喚起を行って欲しい。</p>	S (97.7%)	<p>(要望への対応) 水族館公式HPで、観光庁のマナー啓発映像を2種類アップし、日本でのマナーについて理解協力を呼びかけた。</p> <p>(自己評価) 多様なニーズにこたえられるよう、スタッフの技術・資質の向上に取り組んだ。</p>	<p>引き続き臨機応変に接客できるよう、職員のスキルアップを行いながら、満足度向上に努める必要がある。</p>
	施設・設備 (売店、スナック、レストラン等)	S (93.1%)	90.0%	<p>【カフェ・レストランについて】 <満足度>91.4% ・満足16.3% ・どちらかというと満足8.0% ・どちらかというと不満1.8% ・不満0.5% ・利用していない50.0% ・無回答23.4%</p> <p>【ショップ・売店について】 <満足度>95.6% ・満足35.9% ・どちらかというと満足19.0% ・どちらかというと不満1.8% ・不満0.8% ・利用していない18.2% ・無回答24.4%</p> <p>【改善要望】 ・特になし</p>	S (93.5%)	<p>(要望への対応) 特になし</p> <p>(自己評価) 安全、安心な商品の提供を前提に地元特産品を活用したメニューの提供、オリジナル商品の販売、キャッシュレスサービスなど提供し、満足度向上に努めた。</p>	<p>満足度向上に向け、販売価格や利益率に考慮しながら、より魅力あるメニューの提供やオリジナル商品の販売に取り組む必要がある。</p>
	教室・プログラム	S (98.0%)	90.0%	<p>【美ら海オトナ塾11月「水族館での最先端研究」】<満足度>100% ・満足91.7% ・やや満足8.3%</p> <p>【美ら海オトナ塾12月「深海の「ようせい」を育ててみた話」】<満足度>90.9% ・満足54.5% ・やや満足36.4% ・普通9.1%</p> <p>【美ら海オトナ塾1月「イルカトレーニングの話」】<満足度>100% ・満足72.7% ・やや満足27.3%</p> <p>【美ら海オトナ塾2月「海から水族館まで輸送の話」】<満足度>100% ・満足76.2% ・やや満足23.8%</p> <p>【美ら海オトナ塾3月「タツノオトシゴ入門」】<満足度>100% ・満足80.0% ・やや満足20.0%</p> <p>【改善要望】 ・特になし</p>	S (98.6%)	<p>(要望への対応) 特になし</p> <p>(自己評価) 18歳以上の大人を対象とした年パス会員イベントを開催し、海洋生物の知識の普及や調査研究成果を発信した。今年度は、水族館における飼育生物の繁殖の取り組みやイルカのトレーニングなどにフォーカスした講演を行った。コロナ禍に実施したオンライン対応は終了とし、すべて対面での実施とした。</p>	<p>良好に実施できている。海洋生物の知識普及・調査研究成果の発信を行うために、引き続きプログラムを実施し、満足度向上に努める必要がある。</p>
総合評価 (各評価項目の平均)	S (97.4%)	-	<p><満足度> 満足97.1%</p>	<p>評価 (②満足度) S</p>	<p>今後も適切な維持管理・運営業務に努める。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、入場者数も回復してきていることから、来園者のニーズを継続的に収集しながら、施設の管理運営に活かしていく必要がある。</p>	

【評価基準（②満足度）】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均

各評価項目においてはそれぞれの満足度

S：90%以上

A：80%以上、90%未満

B：70%以上、80%未満

II. サービスの質 の評価 取組改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理業務、運營業務の各評価項目において満足度は90%以上を維持している。 ・新型コロナウイルスが5類に移行したことから、今後は入場者の増加が見込まれるため、継続的に高評価が得られるよう、適切な施設管理、新規展示などに取り組むとともに、研修等を実施し満足度向上に努める必要がある。
----------------------------	---

財務状況の確認 評価

1. 収支

(1) 収入

収入項目		令和 4年度実績 (円)	事業計画 (円)	令和 5年度実績 (円)	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項
利用料金収入	入場料収入	3,110,719,100	4,531,495,000	4,634,761,510	149.0%	102.3%	新型コロナが 5類感染症に移行したことを受け、個人旅行や修学旅行が回復傾向にあり、水際対策の緩和や円安の影響により外国人観光客が増加
	売店等収入	2,764,058,831	3,698,025,000	3,862,515,980	139.7%	104.4%	入場者数増に伴う店舗利用者数の増及び高単価商品の導入による客単価の増
	計	5,874,777,931	8,229,520,000	8,497,277,490	144.6%	103.3%	
指定管理料		909,789,587	850,000,000	301,634,425	33.2%	35.5%	大規模修繕に係る指定管理料(繰越分を含む)
雑収入	雑収入	43,524,069	300,000	5,262,000	12.1%	1754.0%	外部診療にかかる旅費及び謝金の増
	計	43,524,069	300,000	5,262,000	12.1%	1754.0%	
合計(A)		6,828,091,587	9,079,820,000	8,804,173,915	128.9%	97.0%	
現状分析 課題							
<p>令和 5年 5月に新型コロナウイルス感染症が 5類に移行し沖縄県への国内外からの入域観光客が増えたことにより入場者が増え入場料収入が増加した。 入場者の増加を受けて物販・飲食施設の利用者も増え、売り場での商品配置の見直しなどの効果もあり収入はさらに増加した。 今後も運営経費を上回る収入を継続するために、体験プログラムやMCEの実施、顧客満足度を意識した運営及び商品開発を実施していく必要がある。 引き続き沖縄県・OCVB・旅行社・航空会社・北部地域等と連携しながら、更なる入場者数の確保や、飲食・売店営業の客単価および利益率上昇に取り組む必要がある。</p>							

(2) 支出

支出項目		令和 4年度実績 (円)	事業計画 (円)	令和 5年度実績 (円)	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項(計画比の増減理由)
1	売上原価	4,680,191,250	6,129,257,000	5,823,305,322	124.4%	95.0%	
	<施設維持管理>	861,869,644	944,095,000	909,556,690	105.5%	96.3%	
	修繕費	10,751,831	18,083,000	29,328,786	272.8%	162.2%	医療機器の修繕、インボイス対応に伴うプログラム改修による増
	清掃費	171,555,292	161,920,000	157,616,652	91.9%	97.3%	
	植物管理費	50,714,949	66,900,000	67,596,312	133.3%	101.0%	
	動物管理費	116,946,402	163,910,000	128,666,430	110.0%	78.5%	飼料費高騰を予測して費用を確保していたが、想定より単価が上昇しなかった
	建物維持管理費	385,879,997	451,432,000	429,839,272	111.4%	95.2%	
	減価償却費	115,995,154	81,850,000	96,509,238	83.2%	117.9%	固定資産購入に伴う増
	その他	10,026,019	0	0	0.0%	-	
	<利用者サービス費>	1,347,010,636	1,681,842,000	1,591,417,966	118.1%	94.6%	
人件費	1,050,835,582	1,251,968,000	1,302,842,073	124.0%	104.1%	給与額改定および配置人員増員に伴う増	
印刷製本費	36,923,273	33,847,000	42,153,995	114.2%	124.5%	入館者増によるレジ袋の発注増	
利用者サービス費	125,149,550	96,727,000	74,412,060	59.5%	76.9%	営業時間の短縮、警備員の配置場所の見直し、案内業務を内製化したことによる減	
賃借料	30,555,806	42,209,000	38,086,932	124.6%	90.2%	事務用機器、車輛賃借料等の減	

	委託費	93,321,576	248,488,000	122,856,378	131.6%	49.4%	新規大型生物の搬入がなかったことによる管理費の減
	遊覧車負担金	10,224,851	8,603,000	11,066,528	108.2%	128.6%	電気遊覧車の利用が進まなかったことによる負担金(電気遊覧車収支差額)の増
	<広告宣伝>	19,166,823	116,202,000	35,194,542	183.6%	30.3%	入館者増に伴う費用増を見越し計上していたが計画より減
	<商品仕入れ>	1,415,905,802	1,794,278,000	1,960,776,229	138.5%	109.3%	売上増に伴う商品仕入れの増
	<その他事務費>	1,036,238,343	1,592,840,000	1,326,359,895	128.0%	83.3%	
	消耗什器備品費	2,195,974	4,560,000	8,514,847	387.7%	186.7%	現場で必要な物品の購入増
	消耗品費	42,522,821	57,176,000	55,497,237	130.5%	97.1%	コロナ対策用物品等の購入減
	光熱水費	435,929,803	752,802,000	493,522,523	113.2%	65.6%	電気料金高騰に備えたが計画より減
	支払手数料	211,918,751	393,159,000	347,381,926	163.9%	88.4%	利用率の減(旅行会社の利用による収入割合の減)
	租税公課	301,330,927	320,744,000	365,446,926	121.3%	113.9%	売上増に伴う消費税納付額の増
	その他	42,340,067	64,399,000	55,996,436	132.3%	87.0%	車輛維持費、通信運搬費の減
2	調査費	120,860,979	143,925,000	136,641,918	113.1%	94.9%	リース減価償却費、人件費の減
3	販売費及び一般管理費	217,092,168	232,127,000	244,815,708	112.8%	105.5%	
4	県への固定納付金	488,582,066	1,159,267,000	1,159,267,000	237.3%	100.0%	
	<国有財産使用料>	297,267,000	297,267,000	297,267,000	100.0%	100.0%	
	<大規模修繕費等>	129,315,068	800,000,000	800,000,000	618.6%	100.0%	
	<県職員人件費>	41,999,999	42,000,000	42,000,000	100.0%	100.0%	
	<県モニタリング費>	19,999,999	20,000,000	20,000,000	100.0%	100.0%	
5	大規模修繕費用	61,281,100	850,000,000	301,634,425	492.2%	35.5%	工事繰越に伴う執行減
	小計	5,568,007,563	8,514,576,000	7,665,664,373	137.7%	90.0%	
	公園関連事業	89,565,066	125,375,000	116,286,834	129.8%	92.8%	
	地域還元事業	4,013,665	27,919,000	50,117,785	1248.7%	179.5%	イベント経費(サマーフェスティバル)の増
	歩合納付金A		0	26,483,347	-	-	
	歩合納付金B		0	0	-	-	
	合計(B)	5,661,586,294	8,667,870,000	7,858,552,339	138.8%	90.7%	
<p>現状分析 課題</p> <p>入場者や売店収入の増加を受けて人件費、印刷製本費、商品仕入れ等の運営経費が増加となった。 令和7年夏に開園予定の北部テーマパークとの競合を踏まえ、人材確保、水族館の認知度を高めるための広報宣伝がより重要となる。 全体的に老朽化が進んでいるため、修繕の計画的な実施や環境整備等、適切なコスト管理のもと適時に行っていく必要がある。</p>							

事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること

現状分析 課題」欄は具体的に記入すること

2.経営分析指標

評価指標	令和4年度実績	事業計画	令和5年度実績	前年比(%)	計画比(%)	特記事項
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	1,166,505,293	411,950,000	945,621,576	81.1%	229.5%	計画より先指定管理料を除いた収入が増加し、大規模修繕を除いた支出が減少したため、事業収支は増加した。
収益率 (事業収支(C)÷収入合計(A))	17.1%	4.5%	10.7%	62.9%	236.7%	事業収支が拡大した結果、収益率は計画より先上昇した

利用料金比率 (利用料金収入 / 収入 (A))	86.0%	90.0%	96.5%	112.2%	106.5%	利用料金収入の増加により利用料金比率が上昇した
人件費比率 (人件費 / 支出 (B))	18.0%	14.4%	16.0%	89.3%	114.0%	支出総額は大規模修繕の繰越、電気代の補助金等により減少したものの、人件費は増加したため人件費比率は上昇した
外部委託費比率 (外部委託費合計 / 支出 (B))	(879,396,689) 15.0%	-	(1,182,665,510) 15.0%	96.9%	-	
利用者あたり管理コスト (支出 (B) / 利用者数)	2,164,514人 2,616	2,810,000人 3,085	2,956,092人 2,658	136.0%	105.2%	利用者あたり単位コストは利用者の増加により低下した
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料 / 利用者数)	2,164,514人 420	-	2,956,092人 102	-	-	
現状分析 課題 ・入場者数の増加や売店等収入の増加により 事業収支及び収益率は計画より上昇した。 令和 4年度の自治体負担は、管理運営の継続のための応急的な措置であり 令和 5年度は負担なし。						

事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること

現状分析 課題」欄は具体的に記入すること

評価 (財務状況)	A
-----------	---

【評価基準 (財務状況)】
 収益率 (事業収支 / 収入合計)
 A : 0%以上
 B : -5%以上、0%未満
 C : -5%未満

サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	施設の魅力を高め、更なる入場者の確保や地域と連携した商品や SDG に配慮した高単価商品の開発に取り組む。 開館から20年経過し、修繕費の増加が見込まれることから、業務の内製化など必要な経費削減の取組は継続しつつ、効率的な支出を図る。
-------------------------------	--

「財務状況の確認 評価」の各項目の「現状分析 課題」等を踏まえて、現年度 (R6年度) の主な取組改善案を記入すること

経営分析指標の評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入 - 支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支 / 収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること / 計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入 / 収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費 / 支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること / 人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計 / 支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出 / 利用者数	利用者 1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) 変動がある場合には、その要因を整理すること / 過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料 / 利用者数	利用者 1人に対する県の財政負担を確認する。過年度実績や類似施設との比較により当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標設定の考え方
成果指標	①利用状況	利用者数 3,200,400	2,774,000	3,058,000	3,058,000	「R4-8国営神羅記念公園運営維持管理業務民間競争入札実施要項」の海洋博覧会地区の公園利用者数を基に、水族館利用者数を算出(R6年度は入域観光客数を基に算出)
	②満足度	満足度 90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	S評価を目標とする。
財務指標	③財務状況	収益率 5.4%	2.5%	2.5%	2.5%	水族館利用者数を基に算出。

2. 評価結果

評価項目	評価指標	令和4年度	事業計画(目標値)	令和5年度		現状分析・課題	評価(点数)	取組改善案	令和6年度目標値
				前年比	計画比				
成果指標	①利用状況	利用者数(人) 2,164,514	2,810,000	2,956,092	136.6%	105.2%	A(10)	・国や県、北部地域等と連携した誘客活動や施設の魅力を伝える広報の強化を行うことで、さらなる国内外からの入場者数の確保を図る。	3,200,400
	②満足度	満足度 96.9%	90.0%	97.1%	100.2%	107.9%	S(20)	・今後も適切な維持管理・運営業務に努める。 ・利用者数の増加が混雑の原因となり、満足度の低下に繋がることがないよう、利用者の分散化を図る取組を行う。	90.0%
財務指標	③財務状況	収益率 17.1%	4.5%	10.7%	62.6%	237.8%	A(5)	・施設の魅力向上により入場者の確保に努めると同時に、業務効率化による経費削減を進めることで、効率的な支出を行う。	5.4%
活動指標	④重点取組事項	体験プログラムの充実 139,099人	—	162,475人	116.8%	—	—	・引き続き体験プログラムおよびイベント等の充実を図り、取り組みを継続するとともに体験機会の増加を図る。	—
総合評価		・利用者のニーズに合わせて開場時間を変更するなど、閉館後にMICEやウェディングの受け入れ等を行うことで効率的な施設運営を行った。 ・引き続き体験プログラムの充実やオンラインイベント等を活用し、魅力度アップや満足度向上に取り組むと同時に、国内外からの利用者も増加していることから、体験プログラムの多言語対応に向けた検討を行う必要がある。 ・施設の適正な維持管理について、継続して職員研修を行い、報告・連絡・相談の徹底に取り組む必要がある。						A(35)	

※重点取組事項の「評価指標」には具体的な取組内容を記載すること。
 ※「総合評価欄」には、モニタリングの実施結果に基づき、施設の管理運営が適正に行われているか所見を記載すること。
 ※「現状分析・課題」、「取組改善案」は6-1～Ⅲから転記する。
 ※「a+1年度目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

S: 110%以上

A: 100%以上、110%未満

B: 80%以上、100%未満

C: 80%未満

②満足度

総合評価における満足度(各評価項目の平均値)

S: 90%以上

A: 80%以上、90%未満

B: 70%以上、80%未満

C: 70%未満

③財務状況

収益率(事業収支/収入合計)

A: 0%以上

B: -5%以上、0%未満

C: -5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

S: 目標を大きく上回る

A: 目標を概ね達成

B: 目標を下回る

C: 目標を大きく下回る

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	—	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

【総合評価基準】

	総合評価基準
S	40点以上 <small>かつ各評価項目においてC評価がないこと</small>
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

